



IMAZINE No.1

発行責任者：BHEジェンダー支援チーム
学生（ピア）スタッフ

IMAZINEって!?

突然ですがBHEジェンダー支援チームって知っていますか??
 近年よく聞くようになった「ジェンダー」「セクシュアリティ」に関する話題。ひょっとしたらあなたもそれらに関して何かしら個人だ経験があったかもしれません。
 「BHE」はヒューマンエンパワーメント推進局（Bureau of Human Empowerment）という筑波大学の組織で、ジェンダー支援チームは、学内で「性」に関する悩みを持った方達に寄り添う、また「性」に関する知識理解を広めることを目的とした取り組みをしているチームです。今はBHE教職員の方達と3人の学生（ピア）スタッフで活動しており、主な活動としては月に数回開室している、「性」の違いを尊重しながら誰もが安心して話せる場所としてのセーフスペース「Kite Kite」を開室したり、図書館での展示、イベントへの出展をしたりしています。
 そんな私たちジェンダー支援チームの学生スタッフで広報誌「IMAZINE」を発行することになりました。より筑波大学の学生の声を反映するような活動ができないかということも考え、誰もが手に取りやすい形でジェンダー・セクシュアリティに関する知識、そしてジェンダー支援チームの取り組みを広めることができる広報誌製作をすることに決めました！定期的に発行する予定で、筑波大学内外の「性」に関する情報や、ジェンダー支援チームのイベント情報、さまざまな「性」に関する話題を含めた広報誌にしていきます！
 「IMAZINE」の由来としては、筑波大学のスローガン「IMAGINE THE FUTURE」のIMAGINE（想像する、思い浮かべる）と、誰もが自由に発行できる小冊誌「ZINE」をかけてこの名前になりました。私たちがひとりひとりが自分らしくいるために、ジェンダー支援チームも広報誌を通して精一杯頑張りたいと思います！ぜひご一読ください！

BHEジェンダー支援チームでの一年間を終えて～保井啓志先生～

2023年2月から2024年3月までBHE助教を務められ現在は同志社大学で研究員をされている保井啓志先生に、BHEでの1年間を振り返るインタビューを行いました。

保井先生は、イスラエル/パレスチナ地域を対象にフェミニズム・クィア理論、批判的動物研究を専門とされ、昨年3月に博士論文「現代イスラエルにおける権利をめぐる政治とナショナリズム：性的少数者の権利と動物の権利の比較分析」を提出されています。昨年度は、ジェンダー支援チームでの通常業務のほかピアスタッフと一緒に企画の打ち合わせや運営に取り組みされていました。気さくで話しやすい方で今回のインタビューでも場を和ませていました。

以下では保井先生のBHE責任後の取り組みについて、筑波大学のセーフスペース「KiteKite」の実態を中心に紹介したいと思います。

保井先生とBHEとの出会いは偶然だったそうです。博士後期課程在籍時に今後の進路について調べていたところ、筑波大学がBHEを新設しジェンダー、セクシュアリティ、LGBTQを専門とする研究者を公募しているのを見つけたそうです。たまたま見かけた公募が着任のきっかけで、「ジェンダー研究を対象とする公募が本当に少ない中で、筑波大学はLGBTQに関する取り組みも含めた公募があった」と採用の嬉しい話を聞いていました。また採用枠の少なだけではなく「日本では小中高まででジェンダーを教わる機会がほとんどないが、性に関することは日常生活に関わることなのでジェンダー教育はとて重要」だとお伝えいただき、研究と教育の両面から「性」の問題に取り組みようとしていた姿勢がうかがえました。

保井先生が責任後にやりたいと思っていた取り組みの一つにセーフスペースの開室があります。自身のジェンダー、セクシュアリティに関係なくすべての人が安心して安全に過ごすことのできる筑波大学のセーフスペース「KiteKite」は、保井先生にもご協力を仰ぎながら昨年実現しました。学生時代にLGBTQのピアサポートのグループに所属していた経験から性的マイノリティの基礎づくりの必要性を感じていたという先生によると、フェミニズム、クィア研究の清水晶子さんによる「大学は（大学）を守るのか——大学におけるセクシュアル・マイノリティ」（2016年『世界』888巻岩波書店所収）という文章を読んだことが影響しているそうです。自らのジェンダー、セクシュアリティのあり方が尊重されず大学に来られなくなってしまう学生がいることについて、「全ての構成員が安心して学べる環境を大学側が提供できないことは重大な問題で、この問題に対して無責任ではない方がいい」という考えを深め、その意義を感じられたそうです。海外、特にアメリカの大学ではすでに設置されているところも多く、日本でも東京を中心にセーフスペースが運営されている大学があります。こうした現状を踏まえ筑波大学でも取り組みを開始しようとして、ピアスタッフや保井先生を含めたジェンダー支援チームの教職員とも協議を重ね、昨年開室することができました。

「LGBTQの人は孤立しやすい。オキヤーと生まれたら多くの場合両親がヘテロセクシュアルでシジェンダーの順に生まれるから、基本的にはひとりぼっちになる。それから思春期を経て自分探しのグレートジャーニーが始まる。それはほのマイノリティとはやや違うところの特別なところでもある。だからこそ支援する・支えられる関係ではない対等な学生同士の関係性や参加・協働が重要で、その意味で学生ができることは多い」と学生たちへのメッセージを聞いていました。「学生からさまざまな提案をこれからどんどん聞いてほしい」というお言葉を大事に、ピアスタッフとしての活動に励みたいと思えるインタビューとなりました。保井先生、1年間ありがとうございました！



やすひのりし
保井啓志先生
(2023/03/27撮影)

東京レインボープライド2024で同性婚実現に向けてのアクション

結婚の平等（同性婚の法制化）実現を目指す公益社団法人Marriage For All Japan - 「結婚の自由をすべての人に」は、東京レインボープライド2024において様々なコラボ企画を行い、同性婚に関するシンポジウム企画、パレード走、同性婚へ賛同する選挙候補者を可視化するARカメラ体験スペースの設置、国会議員あてに同性婚の法制化を求めるメッセージをつづって届けるコーナ―を設け、約330枚の手紙を集めた。パレードには「結婚の自由をすべての人に」訴訟を戦う控訴人・弁護団や、全国の支援者・当事者、賛同企業担当者が大勢参加し、訴訟で唯一「合憲」とされた関西訴訟の控訴人・川田有希さんと田中昭全さんは、「社会の幸福度を上げるために存在するのが政治のはずなのに」（同性婚を認めると）社会が変わってしまう」という国家首長の発言自体がおかしい。」（発言の一部）と訴えた。

<https://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000056.000054117.html> PRTIMES 2024年5月2日 10時00分 引用

おすすめの本1冊！

ALLYって知ってる？

自分が、同性愛者やトランスジェンダーを中心とする性的マイノリティ（LOGBTQ+コミュニティ）当事者である、非当事者であることに関わらず、LOGBTQ+の人権や生き方を尊重し、かれらに寄り添い理解に努める態度、活動を支持し、支援し、不正を正すための行動志向を有する者のことだ。

T-ACT つくばアクションプロジェクトでは、「LOGBTQ+ = ALLIES Salon」という企画を行っており、LOGBTQ+の当事者や、非当事者ALLYが一緒にあって語り感を共有したり、勉強しながら、シティシップを発揮するアクションの機会を企画・企画・実行する場を築くことが目的であるそうぞ。

13歳から知っておきたいLOGBTQ+ (アシュリー・マーデル)

タイトルの通り、13歳、つまりLOGBTQ+のことについて全く知らない人でも理解しやすく分かりやすくLOGBTQ+について書かれた本です！社会のなかで「自分は何者なのか」という問いに向き合い続ける約40名のLOGBTQ+のリアルな声が聞かれていて、様々な経験が記されています。人間は多様であり、ラベルはあくまでも自分や相手を理解し自分を伝えるための手段であって、ラベルに当てはまっていないことを気にしなくてもよい、自分らしくいていいんだ、ということを教えてくれる一冊です。



HANASO!

「性」についてのモヤモヤ、ジェンダー・セクシュアリティについての知らない知識、ジェンダー支援チームについて聞いてみたいこと、ありませんか？

このコーナーは読者の皆さんからさまざまな「性」やジェンダー支援チームに関する質問やお悩みを募集して私たちがそれにお答えするという企画です！なかなか人には聞けない…なんてことも私たちが責任をもってお答えするので安心ください！

下のグーグルフォームのQRコードを読み込んで質問やお悩みを書いて送ってください！たくさんの応募お待ちしています！

※送っていただいた質問やお悩みがBMAZINEに掲載させていただきます。
※応募数が多かった場合すべてのものを載せることが難しい場合があります。ご了承ください。



Information

BtEジェンダー支援チームでは、3月の国際女性デーや4月の東京レインボープライド、6月のPride Monthといった季節毎のイベントの企画・運営、またセーフスペース KiteKiteや映画鑑賞会の企画と運営、そして豊後県へのブース出展というように、LOGBTQ+のコミュニティ形成やジェンダー・セクシュアリティ関連イベントに携わっています。そんな私たちの今後の活動予定をまともしました。気になるという方はぜひ遊びに来てください！

- 6/3(月)~6/21(金) Pride at Tsukuba
〜ぶちライブラリー〜
場所：中央図書館
- 6/5(水)、6/26(水) セーフスペース
kite kite
場所：人間系学系A棟110
時間：11:30~13:30

Official RP



他にも気になるという方はぜひこのQRコードからジェンダー支援チームのオフィシャルメールにご覧になってください！

